

総合教育会議資料

富士見市の学力向上策について

(1) 県学力・学習状況調査に基づく学力向上策

- ・学力調査結果の分析及び質問紙調査の分析、また、課題の把握を行い校長会等で周知。
- ・学校、学校教育課（指導主事）が協働し、学力向上策を検討する。
- ・各学校担当指導主事が学校指導訪問等において、該当校の分析データを元に指導・助言を行う。

(2) 授業改善策

- ・若手教員育成指導員の配置により、若手教員（経験2～5年の教員を対象とし、臨時的任用教員も含む）の授業力等（指導力、学級経営力、資質）を育成・向上する。
- ・中村 祐治 氏 元横浜国立大学教授 元立川市教育委員会教育委員長
「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善
「主体的・対話的で深い学び」のいわゆるアクティブ・ラーニングの手法を用いた学習等を行うための学級経営（人間関係づくり）について

(3) 教育課程及び年間指導計画への位置づけ

- ・教育課程研究委員会（主幹教諭、教務主任対象）にて、学力向上にかかるPDCAマネジメントサイクルを各学校で確立できるように教育課程及び年間指導計画へ位置づけさせて、年間を通じて学力向上に生かすよう協議を行う。

(4) 富士見市独自問題の活用

- ・学力向上プロジェクトチーム（市内小中学校より選抜チーム）が小中学生の課題を解消するためのチャレンジ問題及び思考力アップ問題を作成し活用
チャレンジ問題（小1～小4算数・国語、小5～小6算数・国語・理科）
（中1～中2数学・英語・国語、中3数学・国語）
思考力アップ問題（小1～中算数・数学、国語）